

2022  
PRIMÒ  
RING PROJECT  
CSR REPORT

PRIMO GROBAL HOLDINGS



# 目次

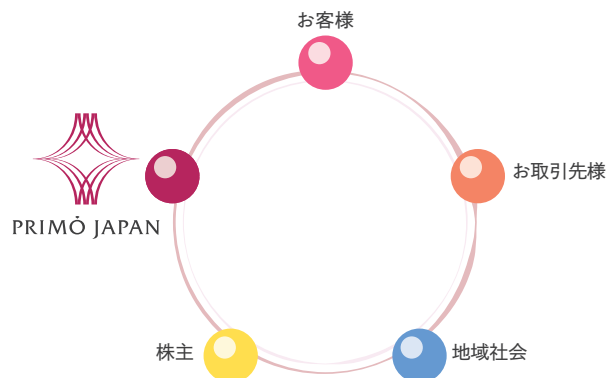
|                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| 活動理念                                  | 03        |
| 2022年CSRレポート発行に寄せて・2022年プロジェクトメンバーより  | 04        |
| <b>1.お客様の想いに寄り添う</b>                  | <b>05</b> |
| 社内ジェンダーフリー理解の促進                       |           |
| ジェンダーレスビジュアルの提案                       |           |
| LGBTQ+イベントへの協賛(関西レインボーフェスタ)           |           |
| 障がいのあるお客様へのサービス向上(みえる通訳、手話講座)         |           |
| サポートシート入籍欄                            |           |
| <b>2.信頼される商品を届ける</b>                  | <b>07</b> |
| アニバーサリージュエリーの拡充、PRIMO QUALITY DIAMOND |           |
| <b>3.よりよい職場環境を育む</b>                  | <b>08</b> |
| ピンクリボン運動                              |           |
| PRIDE指標2022およびD&I AWARD 2022の受賞       |           |
| ヒール3cm以下/ノーヒール解放                      |           |
| <b>4.地域や環境を守り次世代へつなぐ</b>              | <b>09</b> |
| FSC認証おしぼり提案                           |           |
| 洗って使えるカトラリーの推奨・社員へ配布                  |           |
| 全店清掃活動                                |           |
| コンタクトレンズ空ケースの回収活動                     |           |
| ベルマーク回収による教育支援                        |           |
| 富士山自然保護活動                             |           |
| 古着の寄付活動                               |           |
| 自立と夢を応援するジョブプラクティス                    |           |
| 中学生の職場体験への協力(京都・函館)                   |           |
| 高校生の企業訪問学習                            |           |

# 活動理念

多くの人々の幸せを創りたいという思いから。

「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」

この企業理念に基づき、ひとりでも多くの人々の夢を叶え、幸せを形にした  
いという思いから、当社のCSR活動“PRIMO RING PROJECT”が始まりました。  
プロジェクトに参加するメンバーひとりひとりの自発性と熱意から、4  
つの活動方針に加えて近年ではSDGsの理念に基づき、様々な活動を行って  
おり、ひとりひとりの力が重なり合い、笑顔の輪(=RING)が社員、地域の皆  
様、お取引先様、そしてお客様へと広がっています。



## PRIMO RING PROJECTの活動意義

プリモ おもい プリモ かたち  
**最高の夢を最高の幸に**

発展

連鎖

幸せのリングを「つなげる」「広げる」ことで  
「あらゆるものに、愛され信頼される存在に」

信頼

4つの  
活動方針



お客様の  
想いに  
寄り添う



信頼される  
商品を届ける



よりよい  
職場環境を  
育む



地域や  
環境を守り  
次世代へ  
つなぐ

SDGs目標  
該当項目



# 2022年CSRレポート発行に寄せて

## 2022年のPRIMO RING PROJECTを振り返って

当社は創業以来、「最高の夢を最高の幸に」を企業理念とし、ブライダルジュエリーの企画・販売を続けてまいりました。人生で最も幸せな瞬間を控えて当社の店舗にご来店されるお客様はもちろんのこと、当社の活動を支援して下さるお取引先様、店舗周辺の地域の皆様、株主の皆様、そして日々業務に邁進する従業員とその家族など、すべてのステークホルダーの「夢(おもい)を幸(かたち)にしたい」という考えのもと、2007年10月に収益の一部を寄付することから始まった活動は、笑顔の輪が広がることをイメージして「PRIMO RING PROJECT」と名付けられ、2023年には17年目を迎えます。

2022年度は、従来のCSR活動に加えてSDGsの理念のもと「誰一人取り残さない」ための取り組みをプロジェクトメンバーひとりひとりが深く考え提案・実行に移しました。その結果、障害のあるお客様へのサービス向上やジェンダーフリーの理解促進などダイバーシティ&インクルージョンを推進する取り組みを多く行いました。また、環境配慮への取り組みにも注力しコロナ禍で実地活動ができなかった「富士山自然保護活動」を2年半ぶりに行いました。さらに児童養護施設・中学校・高校の皆さんの教育支援活動も実施することができオンラインとオフラインのハイブリッドな活動を行いました。

現在あるものに満足せず、さらに上を目指すことを社員自ら考え実行することで、笑顔の輪が広がっていることを感じます。

また企業としても働き方改革に取り組んでまいりました。社員の多様性を互いに尊重し、個々の強みで補完し、磨き合える職場環境を整備しながら、今後も関わっていただく皆様への感謝を忘れず、発足当時と変わらぬ笑顔を絶やすことのないよう、活動を継続してまいります。さらに当社を取り巻く様々な経営課題にも真摯に取り組んでまいります。

今後ともPRIMO RING PROJECTの活動にご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。



代表取締役社長

澤野直樹

## 2022年プロジェクトメンバーより

### 人財採用セクション 湯浅 聖子



今年は、今まで以上にメンバー個々の主体性や行動力が重視される1年でした。チーム内で意見を持ち寄り、全体共有へ向けて資料を作成しプレゼン。時には、様々なセクションへ提案をしたり、外部企業の方ともやり取りをしたり... ひとりひとりの動きが繋がってひとつの案件を実現させていくという大きなやりがいを感じました。社内でも歴史的なイベントにもなっている富士山自然保護活動へ久しぶりに行ったことも印象深く心に残っています。清掃だけではなく森づくりを通して、改めて富士山へ貢献ができたことがすごく嬉しかったです！

### アイプリモ銀座本店 安東 美桜



昨年に引き続き、今年度が2度目の参加でした。日々感じることを行動に移すことのできるPRIMO RING PROJECTは楽しかったです。今年度はメンバーと対面で実際に富士山清掃活動を行うことで活動が目に見えて達成感がありました。また今年度は考えを実行する際、より多角的な視点で物事を見ることが大切だと感じ、自分の見えている部分に限らず多岐にわたり思考を巡らす難しさや自身の知識の乏しさを感じました。プロジェクトの活動時のみならず生活の中でも多くのことに目を向ける貴重な機会でした。今後の活動や店舗での業務にも活かしていきます。

### ラザールダイヤモンド 札幌赤レンガテラス店 吉田 沙綾



今回初めてPRIMO RING PROJECTメンバーとして活動をさせていただきました。一から活動内容を考え実行することは簡単ではないですが、達成した際のやりがいを強く感じる事ができました。特に私はLGBTQ+の講演会の開催に向けて活動を行ってまいりました。当日は繁忙期にも関わらず多くの店舗の方々に参加していただき、無事に開催することができた喜びと達成感を感じました。この他にも店舗勤務だけでは携わることのない活動に参加ができたので、PRIMO RING PROJECTの活動で学んだ知識や経験をもとに今後も接客や店舗活動に貢献していきたいです。

### ストアサポートセクション 政石 宇子



今年初めてPRIMO RING PROJECTメンバーに着任いたしました。1年の活動を通して大きく視野が広がった実感があり、充実した時間を過ごせました。特に私の中で視野が大きく広がったと感じたのはLGBTQ+イベントへの参加です。ご縁があり関わった方々から大きな刺激と感動をいただきました。チームメンバーと新たに発案し、実現できた内容は次の代につないでいけるよう努めます。

### アイプリモ甲府店 清水 りか



考えたことを発表し実現していくというプロジェクトに参加していないとなかなか体験することのできない貴重な体験ができました。生活の中で何気ないことに気が付ける広い視野が身に付いたと思います。もちろん日常業務と並行して進める大変さではありますが、その分の達成感には比になりません。メンバーの皆で話し合いを進め、実際に会って議論する機会を持てることも貴重な経験となりました。今後も活動で学んだ視点を接客や店舗での運営に活かしていきたいです。

### アイプリモ山口店 金丸 未来



今年は、今まで制限されていた対面会議と富士山清掃の実施が叶ったため、とても嬉しかったです。ともに活動してきたメンバーと顔を合わせて、念願の富士山清掃に参加できたことが、私にとって幸せな体験でした。また1年間の活動を通して、SDGsやLGBTQ+について学び、考えることで、まだたくさんの「こうだったらいいな」が日常にも転がっていることに気がきました。今後もあらゆる人、ものにとって、よりよい環境作りができるように、今ある当たり前を問うことから始めようと思います。

### 財務経理セクション 望月 ゆかり



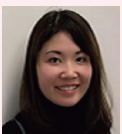
2年目の活動になります。今回は、コロナ禍でマスクのため聴覚障がいのお客様とのコミュニケーションが難しくなり「こんな時だから私たちは何ができるのか」と考え、ひとりだけでは行動に移すことができなかったが、皆さんの協力があったお陰で全店舗に「みえる通訳と筆談用ペンシル」を導入することができるようになり、大変嬉しいと思います。達成した際のやりがいを強く感じる事ができ、ひとりひとりの力を合わせて会社として大きな力にすることの大切さに気がきました。様々な方とお会いし、考え方や視野が広がったと感じています。

### 内部監査室 播口 恵美



PRIMO RING PROJECTが始まった当初からプロジェクトメンバーとして活動に参加し、その後数年はメンバーをまとめる隊長を務め、2020年からはアドバイザーとしてプロジェクトメンバーや事務局のサポートをメインに、継続して参加しています。今年はSDGsの視点を加え、それに沿った取り組みを行いました。過去に実施できなかったことがこのタイミングで形になるものもあり、時代背景に合わせてプロジェクトも進化することでまだまだやれることがたくさんある、と感じました。引き続きこのプロジェクトで今取り組むべきことをメンバーとともに考えていきたいです。

### 総務法務セクション 川崎 綾香



今年でPRIMO RING PROJECT事務局として5年目になります。今までとは違って新たな活動に取り組んだり、初めて店舗でオンライン手話講座を開催したり、店舗でのみえる通訳と筆談用ペンシルの導入を前向きに取り組んだり、昨年はコロナ禍で活動することがありましたが、今年は様々な活動にチャレンジすることができました。初めてのLGBTQ+講演会はとても貴重な時間でした。プロジェクトメンバーの仲間と協力して活動できた喜びを味わうことができました。

# 1

## お客様の想いに寄り添う

「人生で最も幸せなお買い物」のお手伝い……その喜びと誇り、そして大きな責任感を胸に、一人でも多くのお客様にご満足いただけるよう、日々研鑽を重ねています。

### 社内ジェンダーフリー理解の促進

#### LGBTQ+ 関連書籍

LGBTQ+に関する理解向上を推進するために、今年度よりLGBTQ+関連の書籍を購入し、社内貸出を行っております。書籍を読むことでLGBTQ+に関する多様な考えを知り、お客様への対応や社員同士のコミュニケーションにおいて、より心地よい空間づくりにつなぐことができると考えています。

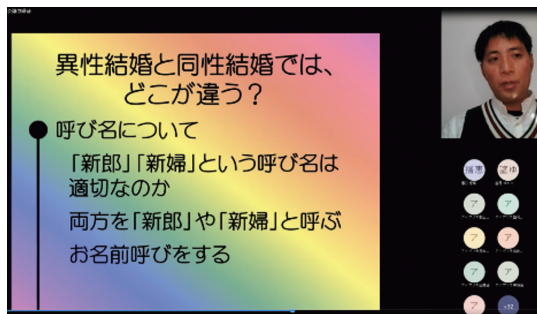


#### LGBTQ+ 講演会

LGBTQ+について理解を深めるため初の試みとして、オンラインにて講演会を実施いたしました。講師として、LGBTプライダルプランナーとして活躍し、関西レインボーフェスタ等の実行・司会を務める方を講師として招き、基礎知識から結婚にまつわることまで講演いただきました。当日は全店舗のスタッフが参加することは難しいと予想されておりましたので、講演会の内容を録画しいつでも視聴できるようにいたしました。尚、PRIMO RING PROJECTメンバーの理解向上や

目線統一のため、予めLGBTQ+に関する書籍を購入し事前に知識を身に付けることができたため、講演会の内容をスムーズに理解することができました。今後はPRIMO RING PROJECTメンバーのみならず、全店舗スタッフの理解向上・目線統一のための活動を行っていきます。

### LGBTってなんだろう？



**LGBTとは**

- L→レズビアン (Lesbian)
- G→ゲイ (Gay)
- B→バイセクシュアル (Bisexual)
- T→トランスジェンダー (Transgender)

の頭文字を取ったものです。

#### LGBTQ+ 来店方法の提案

ホームページでの来店方法に関するQ&Aを一部新設・変更しました。アイプリモ・ラザールダイヤモンドの公式ホームページに「同性2人で来店してもいいですか？」の質問を追加しました。来店が可能か確認した方がいいのかもしれない、そういった不安を抱かずご来店いただきたいという想いによるものです。以前よりお問合せのあった内容もあり、多くの方に安心してご来店いただくことが目的です。また、同伴される方についても、お相手様とご来店ではなくご家族とご来店、お子様連れでのご来店についても同様に記載しました。アイプリ

モ・ラザールダイヤモンドはすべてのセクシュアリティ、プライダルジュエリーを検討するすべてのお客様をサポートします。

<https://www.iprimo.jp/faq/index.html>

## ジェンダーレス ビジュアルの提案

近年、LGBTQ+のお客様も多く来店をいただいています。そんな中でホームページやSNSに露出する写真が男女カプルの写真ばかりということに違和感を持ちました。男性同士、女性同士のカプルの姿や手元の写真があるとより多くのお客様にご満足いただけるのではと、I-PRIMO台湾のビジュアルを参考にしながらイメージを膨らませました。その後、ブランドマーケティングセクションの皆さんとの会議の中でジェンダーレスビジュアル導入について提案し、次回のビジュアル変更より導入検討をするとの返答を得ました。

すべてのお客様が心地よく来店をしていただける、また安心して一生物のご相談をしていただける、そんなブランド作りをPRIMO RING PROJECT視点からもどんどん発信していきたいと考えています。



## LGBTQ+イベントへの協賛 (関西レインボーフェスタ)

レインボーフェスタ！2022・関西レインボーパレードに初協賛しました。

こちらは、15回目の開催となる関西最大級のLGBTQ+イベントです。毎年、関西在住のセクシュアルマイノリティ、地域住民を中心に各地からも多くの参加者が集います。2020年からはオンラインで開催していましたが、3年ぶりのリアル開催となりプリモ・ジャパンも初めての協賛に至りました。協賛の証として、イベントホームページバナー広告、配布されたうちわやMAPにアイプリモのロゴが掲載されました。イベントに協賛することでたくさんの方との想いを共有することができました。当社の大切にしている「最高の夢を最高の幸に」の企業理念により今後もお客様おひとりおひとりの「おいしい」を「かたち」にするお手伝いを続けてまいります。



## 障がいのあるお客様へのサービス向上

### みえる通訳

聴覚障がいのお客様へのサービス向上として、新たなコミュニケーションツール「みえる通訳(手話通訳)」を導入しました。聴覚障がいのお客様が来店された際、筆談やジェスチャー、または読唇等で対応しておりますが、新型コロナウイルスによるマスク着用の影響により表情や読唇等でのコミュニケーションが困難となりました。前年はフェイスシールドを導入し表情や読唇でのコミュニケーションが可能となりましたが、今回はそれに加えて「みえる通訳」を導入しました。「みえる通訳」はタブレットの画面上で手話通訳オペレーターにアクセスして、お客様・オペレーター・販売員がリアルタイムにコミュニケーションをとることができ聴覚障がいのお客様の細かなご要望も取りこぼさずに対応が可能となります。

### 手話講座

「みえる通訳」以外にも聴覚障がいのお客様と手話でコミュニケーションがとれるように簡単な挨拶が学べる「手話講座」を企画・実施しました。手話講座に参加できなかったスタッフのために手話動画を制作し全店舗へ配信を行いました。今後も、障がいの有無にかかわらず、すべてのお客様に対してよりよいサービス提供ができるように邁進していきます。



## サポートシート入籍欄

ご来店されたお客様がご記入するサポートシートについて、プライダスケジュールに関する質問の回答欄を一部変更します。現在のサポートシートでは、挙式について「挙げない」という選択肢がある中、入籍欄は予定日の記入、もしくは検討中のチェックのみです。そこで、入籍される予定のないお客様に配慮して、入籍欄にも「しない」という選択肢を加えます。選択肢を加えることで、事実婚や同性婚、そしてベ

アリングをお探しの方など、様々なお客様が来店されるため、ご記入後の接客における声掛けがスムーズになることが期待されます。「すべての人々の幸せを形にすること」を大切にしているプリモ・ジャパンだからこそ、誰一人として取り残さず、おふたりのご事情に寄り添った接客ができるように、今後も取り組んでいきます。尚、変更時期は2023年3月を予定しています。

# 2

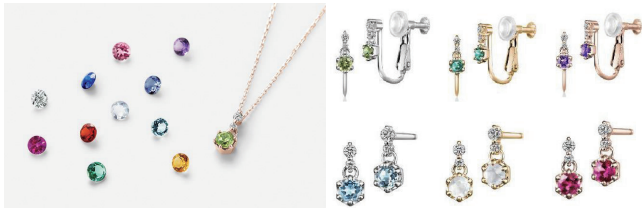
## 信頼される商品を届ける

プリモ・ジャパンでは、熟練のクラフトマンや、品質や産地に精通したダイヤモンドバイヤーが、おふたりの「一生の記念となるリング」をカタチにします。

### アニバーサリージュエリーの拡充

婚約指輪・結婚指輪をご購入いただいたお客様と末永いお付き合いをさせていただきたいという想いから、アニバーサリージュエリーの拡充に取り組んでいます。

2022年6月末にお客様の大切な節目を刻む特別なジュエリーとして12種類のバースストーン(誕生石)から選べるパーソナルオーダーの『ルアンナ バースストーン』を開発しました。ネックレスの人気デザインだった「ルアンナ」のデザインが、ダイヤモンド以外のバースストーンでもお楽しみいただけるようになりました。ネックレスから派生した同デザインのピアス、イヤリングもラインナップに加えています。



10月からは人気のアニバーサリージュエリー5型をピンキーリングサイズでもオーダーいただけるサイズ展開を開始しました。リズムカルに並んだダイヤモンドが特徴で、シャープなカット面が美しい光の造形

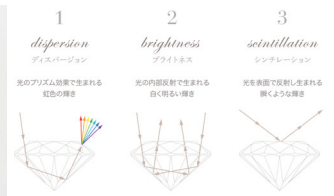
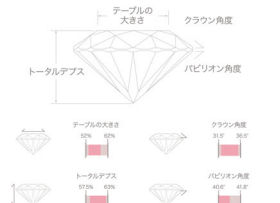
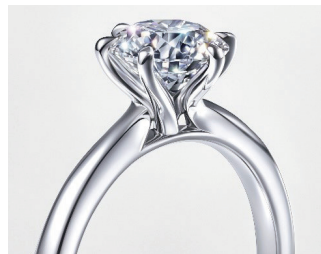
を生み出す『Kyrene(キュレネ)』。女神の竖琴の弦のようなツイストで、細身でありながら存在感を放つ『Erato(エラト)』。スクエアなバケットカットのメレダイヤモンドがシャープで知的な印象の『Themis(テミス)』。天使の輪をモチーフにした清らかな輝きの『aureole(オレオール)オレオール19FR、15FR』。小指に指輪を着けることは幸運を呼ぶアイテムとして知られており、記念日などの特別な贈りものだけでなく、仕事のチャンスや夢への足がかりなどのご縁に恵まれるという願いを叶えるお守りとして、恋人や自分へのご褒美にも、他の指に合わせたリングとコーディネートで普段使いのファッションアイテムとしてもお楽しみいただけます。



### PRIMO QUALITY DIAMOND

最高を表す言葉「プリモ」に由来するアイプリモは、ブランド設立以来、ダイヤモンドが持つ輝きを究極にまで引き出し、表現することにこだわってきました。

輝きの3要素と言われる「ディスペーション、プライトネス、シンチレーション」がバランス良く組み合わせる黄金のバランスにこだわり最高の輝きを放つダイヤモンドを提供したいという想いから、輝きに最も影響するカットプロポーショナルにこだわり、58面体のあらゆる数値を設定しました。この範囲のプロポーショナル数値だけを選んで仕入れるのは難易度が高く、当社は大手サプライヤーや研磨工場と協業し、定めた範囲でのプロポーショナルに研磨してもらうことを実現しました。同じEXCELLENT評価であってもより最高の輝きに仕上げるために歩留まり(研磨効率)は落ちますが、一連の工程を監修し厳しい検品基準のもとお客様へ提供しています。



# 3

## よりよい職場環境を育む

お客様に最高のホスピタリティをご提供できるのは、快適な職場環境があつてこそ。

「ライフワークバランス」や「ダイバーシティ」の重要性が高まるなか、社員ひとりひとりがイキイキと、長く働ける環境を整えています。

### ピンクリボン運動

毎年10月1日は「ピンクリボンデー」として、一般的に日本各地でも様々な活動が行われています。ピンクリボン運動とは、乳がんについての正しい知識を多くの人に知っていただき、乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守る運動です。プリモ・ジャパンでも10月の1ヵ月間は「ピンクリボン月間」とし、オリジナルのピンクリボンバッジを着用する取り組みを行っています。昨年同様に、中国本土・台湾・香港の各店舗と協力しプリモグローバルホールディングス全体での着用を実現いたしました。女性社員が多いプリモグループですが、乳がんは女性特有のものではなく、男性も発症することのある病なので、誰もがかかる可能性のある病であるという啓蒙を行っていくことで、より健康への意識を高めることができました。



### PRIDE 指標 2022 および D&I AWARD 2022 の受賞

プリモ・ジャパンでは、ダイバーシティ経営の一環として社内のLGBTQ+に関する取り組みを進め、LGBTQ+ガイドラインの更新や、全社員へのLGBTQ+研修の導入、配偶者の定義変更、制度利用時のエビデンス排除などを行うことで、LGBTQ+への理解を深め、差別や偏見のない職場環境を作ってきました。その取り組みを基に、昨年に引き続き今年度も「PRIDE指標 2022」と「D&I AWARD 2022」の2つにエントリーしました。企業のLGBTQ+への取り組みを評価する「PRIDE指標」では、2020年11月に「PRIDE指標2020」でシルバーを受賞した後、2021年は最高位であるゴールドを受賞することができ、2022年も2年連続でゴールドを受賞することができました。また今回で2度目のエントリーとなった、全国企業のダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを認定・表彰する「D&I AWARD 2022」では2年連続で「ADVANCED=日本社会をリードする先進的な取り組みをしている」を受賞しました。今後も継続的に“性別にとらわれない幸せの形”を社外だけでなく社内にも浸透させることで、すべてのお客様そして社員の多様性を尊重した環境整備を進めていきます。



### ヒール 3 cm 以下 / ノーヒール解放

店舗就業時の靴に関するドレスコードを変更しました。従来の「ヒールは3cm以上」という文言に対して、「ヒールは3cm以上を推奨する」と改めることで、3cm以下やノーヒールを許容する内容に更新しました。その背景には、「2~4階建ての店舗のため、階段の昇り降り疲れたい」「外反母趾のため、つま先に負担のない靴を履きたい」という社員からの要望がありました。ご案内や片付けなどで、常に店舗内を動き回る店舗スタッフにとって、高いヒールは足や背骨の関節の圧縮、腰痛などの健康被害を引き起こす恐れがあります。3cm以下のヒールを解放することで、店舗の混み具合や営業の有無によって歩きやすい靴を履くなど、個人の選択の幅が広がりました。今後も社員の声を汲み取ることで、ひとりひとりが働きやすい職場を目指します。





# 4

## 地域や環境を守り次世代へつなぐ

日本全国でプライダルジュエリー専門店を運営するプリモ・ジャパン。笑顔の輪を地域全体に広げ、幸せが広がる街づくりに貢献します。また、豊かで美しい環境を未来世代へつなげていくための環境保全活動にも取り組んでいます。

### FSC 認証おしぼり提案

SDGsに関連した新たな活動として、FSC認証おしぼりの導入を行いました。FSC認証制度とは、適切に管理された森の生産品であることの証明とされており、森林保全と持続可能な社会への要望の高まりを背景に発足した国際的な認証制度であり「森林の管理が環境や地域社会に配慮して適切に行われているか」を評価認証します。当社はご来店くださったお客様へおしぼりと飲料の提供を行っており使用量が

多いことから、環境に配慮した素材を使用することによって森林保全に役立てるのではと考えております。尚、導入に関しては現在使用しているおしぼりの在庫がなくなり次第、導入を予定しています。

### 洗って使えるカトラリーの推奨・社員への配布

PRIMO RING PROJECTでは、企業を挙げてプラスチック製品の使用削減を行うことができないかと考え、洗って使えるカトラリーの配布を全社員へ行いました。デザインは海洋プラスチック問題にプリモ・ジャパンが向き合うことをイメージした「カメ」と「ダイヤモンド」を絡めたオリジナルデザインです。プリモ・ジャパンの一員として同じものを持つことにより、働く社員の目線統一にもつなげていきたいと考えています。プラスチックが人体や環境に与える影響は大きく、これから生きていく上での課題のひとつになることは明確です。個人でできることは小さいかもしれませんが、私たち全員が意識を少し変えるだけでプラスチックの使用を大きく削減することができます。今回のカトラリーの配布を通して、社員全員が環境問題について考えるきっかけにしていきたいです。



### 全店清掃活動

PRIMO RING PROJECTでは、発足時より継続的に清掃活動を実施しています。今年も全店横断プロジェクトとして、4月と10月に「清掃月間」を設けて、全国の店舗に呼びかけました。各店舗は実施日を決めて、OPEN前やCLOSE後に店舗周辺のゴミ拾いを行いました。道沿いには、吸い殻や空き缶などのポイ捨てはもちろん、風で飛ばされてきた落ち葉もたくさん落ちており、清掃活動を通して街の景観が綺麗になったという達成感を覚えました。ひとりの活動では街の美化には限界がありますが、このような活動を継続的に行うことで、社員はもちろん、近隣の方々の意識改革につながると考えます。また、お客様が気持ちよくリング選びのできる店舗であり続けるためにも、引き続き地域の清掃活動に取り組みます。



## コンタクトレンズ 空ケースの回収活動

昨年からの継続的な取り組みとして、コンタクトレンズ空ケースの回収を実施しました。HOYA株式会社 アイケアカンパニーが運営するコンタクトレンズ専門店「eyecity」が行う「アイシティecoプロジェクト」に参画をし、全社員に向けて回収協力を依頼しました。空ケースに使用されているポリプロピレンは、熱に強く、強靱である特徴をもったプラスチック素材であるため、非常にリサイクルに適している素材です。今回の活動で25.7kgの空ケースが集まりました。前回の回収量が8.21kgでしたので、それを上回る回収量となりました。捨ててしまえば活躍の場所がないものをコツコツとリサイクルすることで、環境配慮において大きな貢献ができるということを実績として残すことができました。



## ベルマーク回収による 教育支援

ベルマーク活動は「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい。」という願いを込めて1960年に始まりました。ベルマークを集めるとへき地の学校や特別支援学校、災害で被災した学校、アジアの子どもたちを助けるNPOへの教育援助活動をすることができます。プリモ・ジャパンではベルマーク協賛会社が商品に付けているベルマークを集めベルマーク財団へ送る活動を行っています。ひとりひとりの活動がたとえ小さな活動だとしても継続的に行うことで支援の一助となります。今後も生活の身の周りのできる活動を行っていきます。



へき地の学校や特別支援学校への支援      災害で被災した学校への支援      アジアの子どもたちを助けるNPOへの支援



## 富士山自然保護活動

プリモ・ジャパンのCSR活動の一環として取り組んでいるのが富士山自然保護活動です。2013年にNPO法人「富士山クラブ」と始めた活動でしたが、コロナ禍ということもあり2年半ぶりに現地での活動を行いました。2013年から約1.3tのゴミを回収しており、菓子袋などの小さなゴミから大型の粗大ゴミまで幅広く、どれも人間が放置したゴミばかりで、ゴミが自然をいかに脅かしているか身をもって感じました。また森づくり体験として丸太で森の中に自然に溶け込む道づくりを行いました。大きな丸太を選び出したり、道を形成するために小枝で整えたりと、参加者のチームワークを発揮した活動でした。全国の店舗に配属している社員同士が直接顔を合わせる機会もコロナ禍でほとんど減ってしまい、参加者がイキイキとコミュニケーションをとる姿も印象的でした。



## 古着の寄付活動

春と秋の衣替えのタイミングに合わせ、家庭で着なくなった服、不要になったファッション用品、おもちゃなどを、全国の店舗ごとにまとめ「いいことシップ-ECO to SHIP-」へ寄付をしています。段ボール1箱につき100円が「日本赤十字社」に寄付され、災害支援などに役立ちます。2018年から回収を開始し、5年目となった2022年度は、春に90箱、秋に104箱の古着を寄付することができました。



## 自立と夢を応援する ジョブプラクティス

「ジョブプラクティス」は、2010年から続く、児童養護施設で生活する中学生・高校生に実際の仕事を体験してもらう活動です。2020年からはオンラインでの開催でしたが、今年は東京・熊本にて、念願の対面での開催が叶いました。合わせて6名の学生さんが参加してくれました。2年ぶりの実地開催ということもあり、他の活動も活かしブラッシュアップした内容で臨みました。手話の実践や、正しい敬語、具体的な清潔感のある身だしなみをお伝えしました。また接客体験では、各店舗にある1番大きなダイヤモンドを見たり、リングを着けてもらったりして、キラキラと目を輝かせて参加する姿がとても印象的でした。学生の皆さんが今後の進学や就職で、こういう風になりたい！という将来への期待を膨らませてもらえ、私たちにとっても貴重な体験になりました。



## 中学生の職場体験への協力 (京都・函館)

プリモ・ジャパンでは、中学生の職業体験活動への協力を行っています。将来の進路の参考になるよう中学生向けに、社会人として働くためにこれから身に付けるビジネスマナー講座やブライダル業界について、働くことへの理解を深められるような体験型コンテンツ等もご用意いたしました。この取り組みは、2014年から各地で主体的に取り組んでおり、2022年度はアイプリモ京都店で4名、アイプリモ函館店で3名の学生の皆さんが参加しました。京都店で最も学生の皆さんに反応があったのが「パーソナルハンド診断」を用いた自分に合う指輪選びの体験です。一生着ける縁起物としてブライダルジュエリーの魅力を体感し、「自分に合う指輪が分かった。」「奥深い。記憶に残った。」等たくさんの言葉をいただきました。



## 高校生の企業訪問学習

企業訪問学習は学生の皆さんが企業やそこで働いている社員を訪問して事業内容を学び、仕事の工夫・努力、仕事のやりがいを発見し、実感する学習活動です。2022年11月、埼玉県にある私立高校の学生6名の企業訪問がありました。本社での会社説明を通じブライダルジュエリーの業種について、そして会社概要を学んだあとは、アイプリモ銀座本店へ移動をして店舗見学・接客体験を行いました。普段見ることのない本物のダイヤモンドを間近で見られた瞬間は、学生の皆さんにとってすごく感動的だったようで目を輝かせながら観察をされていました。ピンセットでダイヤモンドを掴む練習も実施しましたが、スタッフが驚くほど上手に扱われており、スタッフから「販売員になれるよ!」という言葉が出るシーンも。

今後、無限の可能性のある皆さんにとって「こんな仕事もあるんだ」「こういった職業も良いかも」と、ひとつでも学びや刺激になれば私たちも嬉しいです。





PRIMO GLOBAL HOLDINGS

<https://www.primoghd.co.jp/>

本レポートの表紙にはPRIMO RING PROJECTの

シンボルパターンがデザインされています。

結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから伝わる

“ダブルウェディングリング”をモチーフとし、

「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、

プロジェクトに込めた想いを表現しています。